ひよこクラスだより　９月号

H26.9.10（水）

子どもたちとお散歩車に乗って園庭に出たときのことです。
Ｈくんが「あっあっ」といいながらトンボを指さします。「あっトンボだね」「気持ちよさそうに空を飛んでるね」などと思いを共有しながら♪とんぼのめがね♪を歌いました。
子どもたちはその歌に合わせて身体を揺らしたり、ほほ笑んだりして可愛い姿を見せてくれました。
お部屋では、Ａくんがおもちゃを食べ物に見立てて食べる真似をしてました。「先生も食べたいな、ちょうだい」と言うと、持っているおもちゃを手渡してくれて「モグモグあーおいしい！ありがとう」と言っておもちゃを返し、それからしばらく同じやりとりを繰り返しました。そんな子どもの姿に日々共感しながら過ごしています。

～お友だちとあそびの中でかかわりあって遊ぶ姿がよく見られるようになりました。～

新しいお友だちが１人増えました。
H25.10.1 生まれの
Ｆ・Ｒちゃんです！
よろしくおねがいします。

過ごしやすい季節になってきました。子どもたちも歩けるようになってきているので、靴を履いて園庭であそびたいと思います。

靴には名前をかいて
もってきてくださいね。

せなけいこさんの
「ねないこだれだ」が大好きです。
ひよこ組のロッカーの上に置いてある絵本の中でも今一番好きな絵本です。ページをめくるたびに表情が変わる子どもたちですよ。

ひよこ組担任：河内・中村（亜）・桑原

すみれぐみだより　第6号

H26．9．10（水）発行

少しずつ涼しい風が吹き始め、夏も終ろうとしています。日中は暑くても朝夕は涼しく、身体のリズムが乱れ、体調不良になりやすいこの時期。食事や睡眠など生活のリズムを整え、元気に乗り越えていきたいですね。

園庭ではセミの鳴き声が小さくなり、たくさんのトンボが子どもたちと同じ目線の高さでスイスイと飛び交っています。「トンボだ！」「トンボ待ってー」と追いかけたり、手で捕まえようとしたりする姿を見ると、まるでトンボとお友だちになり一緒に遊んでいるようです。

「おしっこでたよ」

トイレットトレーニングを始めています。尿意を感じたら自分からトイレに行く子、保育士が「おしっこに行こう」と誘うとトイレに行く子、さまざまですが、トイレに行くとみんな笑顔で部屋に戻ってきます。

便座やオマルに座って尿や便が出ると、「しっこ出た」「うんこ出た」とどこか開放感のある表情をしたり、出たことに驚いたような表情をしたりしながら教えてくれます。小走りで部屋に戻ると、他の保育士にも「しっこでたよ～」と知らせています。尿や便がトイレで出たことが、自分たちの成長につながり、喜びもひとしおです。

「何をつくるのかな？」

井型ブロックはすみれぐみで大人気です。Ｋちゃんはブロックを横や縦につなげて一枚の板のように大きくしながら遊んでいます。また、青色が好きなＡくんは青のブロックだけを集めて正方形の箱を作り、「Ａくんが作ったよ！」と見せてくれます。長方形の箱を作り、お弁当箱に見立てたり、剣のように縦長い棒を作り戦いごっこをしたり、一人ひとり作るものが少しずつ違います。平面から立体の遊びに変わるとともに、子どもたちが“作りたい”と頭の中で想像している物が手先を使って作ることができるようになっています。

「トランポリンだいすき」

先日トランポリンをしました。はじめはバランスをとる事が難しく保育士と手をつないで跳んでいましたが、慣れてくると一人で跳んでいる子どもが多くなりました。トランポリンの上に座り、他のお友だちが跳ぶ揺れで揺れるＡちゃん。一度乗って怖くて降りたけど興味はあるので近くで見ているＫくん。一人ひとり楽しみ方は違うようです。トランポリンは中枢神経を鍛えることができ、子どもたちも楽しんでいたので、これからも遊んでいきたいと思います。

一歳児担任：福岡・今丸・井上・草場・山田

ちゅうりっぷだより

平成２６年９月１０日(水)発行

～おじいちゃんおばあちゃんありがとう～

敬老の日のプレゼント作りをしました。保育士が、「おじいちゃんとおばあちゃん大好きでしょ。みんなでプレゼント作らない」と問いかけると、「作りたい」「たのしそう」と意欲的です。

丸く切った紙を渡すと、自分で選んだ、ちぎり紙を慎重に貼っていて、「どの色がいいかな」「先生これでいい」と真剣に取り組んでいました。

～異年齢とのかかわりの中で～

最近は、園庭に出たり、遊戯室で遊ぶ時には、以上児さんと一緒に遊ぶ機会が増えてきています。何気ない、以上児さんのしぐさや優しい言葉がけなど、異年齢児と遊ぶ機会が増えることで、遊びの中で、自分の思いだけを主張するだけでなく、相手の気持ちを考え、玩具を譲ったりなど出来るようになってきています。

また、すみれ組やひよこ組の友だちへ、「これどうぞ」「大丈夫」など、年下の子どものお世話などが出来るようになってきています。

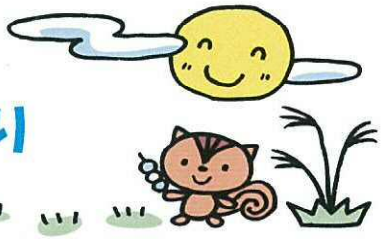
〇お知らせ〇

９月末から１０月にかけて未満児のちゅうりっぷぐみは、保育士と一緒に、手つなぎ遠足に行きます。外に出て歩いていくので、サンダルやスリッパでなくぬげないような靴の準備をお願いします。どんぐりや落ち葉を拾ったりなど秋の自然を肌で感じさせたいと思います。

２歳児担任　唐木、木山

☆第６号☆

こすもすだより



平成２６年９月１０日（水）

それぞれが充実した夏を過ごしたようで、真っ黒に日焼けした元気な姿がみられ、「みんなでプールにいったんよ！」「海に行ってバーベキューした！」「クワガタとカブトムシとってもらったんよ！」と楽しかった夏の思い出を話していました。

ちっちゃな秋、みぃつけた！

子どもたちに絵本を読んでいた時のことです。トイレに行っていたＳくんが、虫を見つけました。「これ何虫？」「この虫見たことない！」「すっごい跳びよる！」と大興奮の子どもたち。図鑑で調べてみると、“すず虫”でした。それを知り、子どもたちは「何て鳴くんかね？」「お家の近くで鳴きよるの聞いたことあるよ」「Ｎちゃんの家のところでも鳴きよったよ」「すず虫って秋の虫よね！」と話していました。こすもすぐみにも小さな秋の訪れです♪

園外へお散歩にいきました♪

みんなでお散歩に行くことになりお話をすると、「ちゅうりっぷさんのとき、先生と二人きりで行ったよね！」「公園でお菓子も食べた！」「どんぐりとか拾ったよね！」と楽しい散歩を思い出していました。園外に出ると、年長児と初めて歩く道にうきうきした表情を浮かべ、たんぽぽ組のお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に川を覗いて魚やザリガニを見つけたり、虫の名前や鳥の名前を教えてもらいながら、楽しそうに歩きました。お散歩から帰ってきから「川のところに大きな鳥がおったよね」「ザリガニもおった」「ぼくＹくんと手繋いで一緒に歩いた！」と、とても大切な経験をしたよう表情で、その場面を語りかけてきました。

お願い

少しずつ過ごしやすい気候になってきたので、金比羅、皿倉登山に向けて、園外へのお散歩も計画しています。長時間歩くと靴擦れを起こすこともありますので、履き慣れた靴の方がよいのではと思います。

３歳児担任：田中 佑奈・﨑野 真子

第６号

H26．9．10（水）発行

子ども達は、虫が大好きでいつも網を持ちセミやトンボを追いかけています。

８月の下旬の時のことです。外に出ると「ミンミンミン」と元気いっぱいの蝉が泣きだしました。Ｓ君が「先生。桜の木に蝉がいるよ！抱っこをして！」と蝉を見つけました。

蝉をつかまえるとみんなに見せていました。一度は虫かごに入れ、みんなで「小さくてかわいいね！」と蝉を眺めていました。

するとＮくんが「蝉は一週間しか生きることができないんだよね。もう秋だからお家に帰してあげない？」すると蝉を捕まえたＳ君は「そうだよね！もう秋になるから蝉はたくさん遊びたいかも。」傍で見ていたＫ君も「お家に帰してあげよう！」とＮ君の意見に賛成をしていました。

早速、はなみずきの木に逃がしてあげました。「また僕たちがたんぽぽ組になった時に出てきてね！」とお別れをしていました。蝉は嬉しそうに木の枝をつたって登り、歩き始めましたが、お別れがつらかったのか途中で立ち止まって子ども達を見ていましたよ。

大好きな虫の命の事も考えるひまわり組に育つことができ嬉しく思いました。

「大変でしょ！手伝ってあげる！」

この間、実習生が保育園に来ました。

ひまわり組で遊んでいる時のことです。実習生が椅子をきれいに並べていました。すると、ひまわり組の３人の女の子たちが「大変でしょ！手伝ってあげるよ！」と一緒に並べてくれていました。

子ども達同士で「こうやって並べたらいいんじゃない！」と話し合ってきれいに並べていました。

実習生の「ありがとう。嬉しかったぁ」という感謝の言葉に「いいよ！」と、とてもうれしそうな表情をしている実習生と子ども達でした。

実習生は、嬉しかったようで何度も私に報告してくれました。

私もこんな思いやりの心が育ってうれしく思いました。

４歳児担任　中村　友美　梅野　那美

第６号

たんぽぽだより

H26．９．10（水）発行

「　　どんじゃらほいからの手紙？！　　」

１９、２０日にもりのいえに行く子どもたち。兄や姉のいる子が「プールみたいなお風呂があるって。」「どんじゃらほいが出てきたらしいよ。」などともりのいえの話でもちきりです。そんなある日、遊戯室から保育室に戻ってくると、金魚の水槽の前に巻物がありました。「えっ！？何これ？」とそなちゃんが見つけ、そなちゃんの周りにみんなが集まってきました。早速開けて読んでみると…もりのいえのどんじゃらほいからの手紙でした。「どんじゃらほい？？いつ来たん？」「ぼくたちのこと森から見よるんかねぇ。」と驚いていました。手紙には、『みんなで力を合わせてみんながお泊りする部屋の名前を当てるのじゃ。』というものでした。『絵本コーナー　136』というヒントも添えられていました。かなちゃんが、「絵本コーナーの136番の本っていう意味じゃない？」ということで行ってみました。絵本を探す子どもたち。さくらちゃんが見つけ、ページをめくっていると「あ、何かあった！！」とまた手紙と“う”という文字を見つけました。次のヒントは『木のおもちゃ、おにぎり』でした。これはこびとのかくれがのおにぎりのおもちゃの中にありました。次は『眺めのよい部屋』。子どもたちはすぐにピンと来て「絶対、ポケットの部屋やん。」と探しに行っていました。

最後のヒントは『保育園の先生、サッカーが得意』これもすぐわかったようです。「唐木先生～、何かどんじゃらほいから手紙もらってない？」と聞く子どもたち。唐木先生のポケットに何やら入っていました。「あったよ～。」と大喜びの子どもたちでした。部屋に戻って見つけた紙を並べてみました。“う”“っ”“か”“こ”「何、これ？」と言いながら並べ替えてみると「あ、かっこうじゃない？」とれいじくん。「鳥の？」「静かな湖畔の森の影から～♪の歌に出てくるかっこう？」「私たちがお泊りするのはかっこうの部屋なんやん。」と、部屋の名前を当てることができました。なぞなぞの楽しい一日でした。

別の日にまた手紙が届き、みんながもりのいえに行くときに乗る、モノレールの駅を覚えたら“どんじゃらほいから贈り物があるぞ”ということで、覚えているところです。贈り物が何か楽しみのようです♪

５日にこすもす組の子どもたちとお散歩に行きました。初めて園外に散歩に行く、こすもすさん。たんぽぽ組の子どもたちは、手をつなぐと車道側を歩き、車が来ると「危ないからこっちにおいで。」と守っている姿がみられました。

金比羅、皿倉登山に向けて、少しずつ距離を伸ばしていこうと思っています。秋の涼しい風を求めて散歩に行くことが多くなると思います♪

５歳児担任　藤田　寛子